SDS発展 66期 3年次

生成AI活用講座

Microsoft　生成AI学習教材より

【目的】

①生成AIを適切に利活用する知識・スキルの習得
②論文作成における「情報収集」「文章構成の工夫」のスキル習得

【日程】

①4/15(火)7h　(1)事前アンケート
(2)生成AIとは何か
(3)生成AIとの付き合い方を考える
(4)使用上の注意事項
(5)保護者承諾書について

②4/22(火)7h　**「ChatGPTを活用した学術論文の精度向上」**
講師：株式会社インターパーク　樫山果歩 氏
(生成AIやノーコード技術を活用したクラウドアプリケーションの開発・販売)

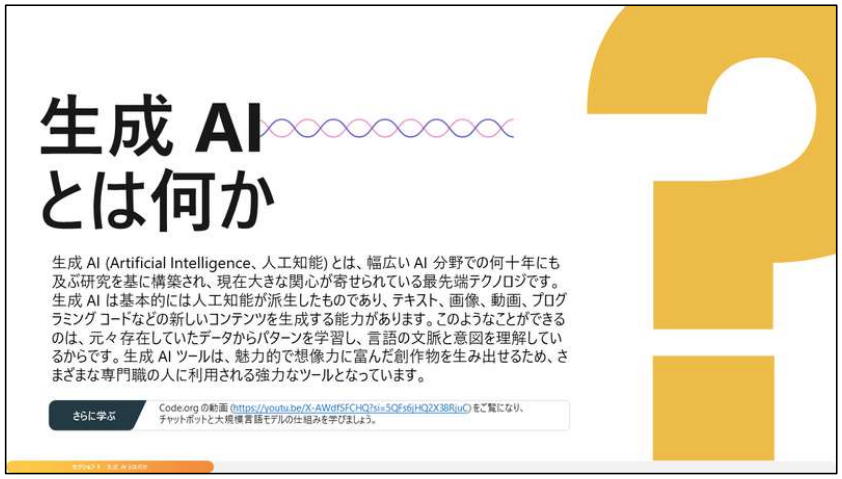
①-(1)事前アンケート

◆アンケートに答えて下さい（3分）

⇒クラスルーム〔SDS発展_66期〕

①-(2)生成AIとは何か

生成AI(Artificial Intelligence、人口知能)とは、人工知能が派生したものであり、**文章**、**画像**、**動画**、**プログラミングコード**などの**新しいコンテンツを生成する能力**があります。このようなことができるのは、元々存在していたデータからパターンを学習し、言語の文脈を予測して提示するからです。



◆科学、学術、ビジネス、ものづくり、行政、あらゆる分野で活用が進む

“道具”として上手に使おう！

【生成AIの仕組み】（3blue 1brown Japanより／冒頭5分だけ、あとは自分で見てね）

⇒　https://www.youtube.com/watch?v=buweV-p_ZAs

①-(3)生成AIとの付き合い方を考える

・インターネット上の情報を総ざらいして回答をつくる
・プロンプト(指示文)の入れ方で回答が大きく変わる

実演

＜得意なこと＞

・わかりやすく説明する
・**文章の整理や要約**
・**アイディア出し**
・**ストーリーや文章の作成**
・表や箇条書きでの整理
・多言語対応

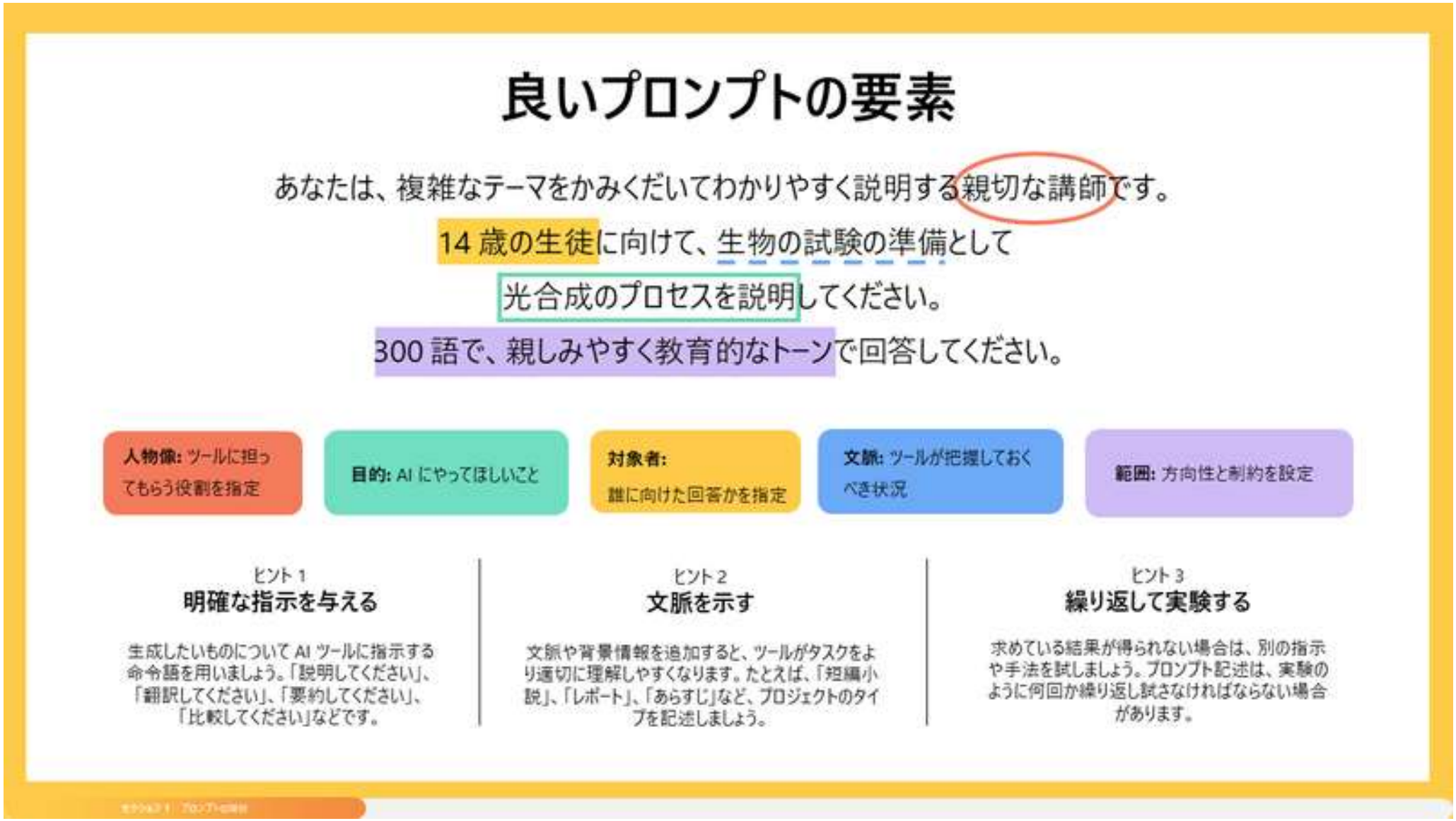
＜苦手なこと＞

・**正確な数字、データ、統計**
・**事実の正確性**(特に最新の情報)
・**不正確でもそれっぽく答えてしまう**
・**著作権、出展、プライバシーの確認**
・**倫理的な判断**(不適切な表現含むことも)
・常に同じ回答をするとは限らない

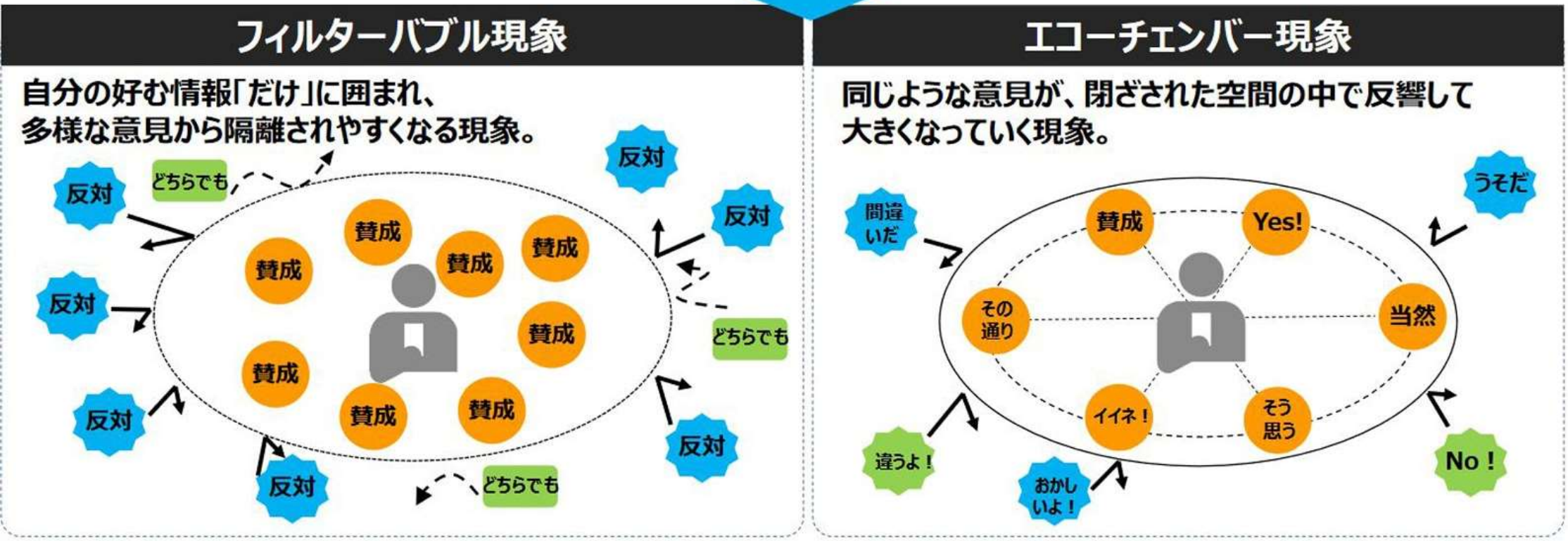
注意

・書いてあることが、**本当に正しいとは限らない**
・AIは「ヒントをくれる相棒」だけど、**最終判断は自分で！**
・鵜呑みにしない！出展を確認！

①-(3)生成AIとの付き合い方を考える



①-(3)生成AIとの付き合い方を考える



文部科学省

重要

- **ファクトチェックをする力**
- **批判的思考力** (Critical thinking)
- **メディアリテラシー**

①-(4)使用上の注意事項　⇒**やってはいけない使い方！**

＜１＞AIの結果をそのまま使用する ⇒誤情報、最新でない情報がある。

＜２＞個人情報(他人の情報)を入力しない

⇒名前・住所・顔写真など。学習データとして利用され、外部に漏洩する危険あり。**（入力データを学習に使わせない設定）**

＜３＞著作権・プライバシーの侵害

⇒小説・マンガ・音楽などを勝ってに使う

⇒有名人の顔や声を使ったなりすまし（肖像権侵害）

＜４＞宿題や課題を丸ごとAIにやらせる

⇒自分の学びにならなずバレる。どう使うのがいいのだろう？

ネットやSNS使用の基本的ルールと同じです

①-(5)保護者承諾書について

◆教育活動での生成AI利用には保護者の承諾が必要（令和6年12月26日　文部科学省ガイドライン）

◆ 4/22(火)までに、保護者承諾書を提出して下さい

～生成AIを活用する前に～

①フォント⇒明朝・ゴシック　／　サイズ⇒本文10.5ポイント
②提出した論文、通して読みました？⇒今日読みましょう。
③必要な結果を載せている？
　・実験系、調査系の班：数値データ(グラフ、表)
　・ものづくり系の班　：設計図(回路図)や写真
④考察や今後の展望は全員で議論した？⇒今日議論しましょう。

論文を書くのはあなた達です。AIではありません。